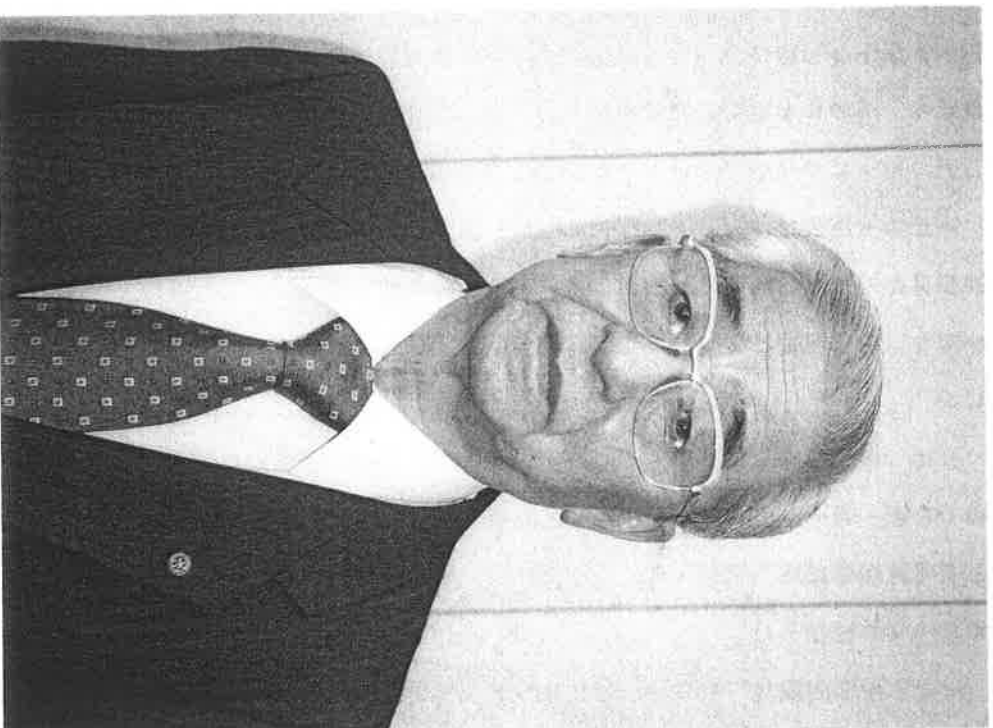


石井 方二

(特別賞)



概要

氏 名 石井方二(いしい まさじ)

職 業 伝統工芸者(三弦の駒と撥の製作)

住 所 宇土市本町3丁目58番地

主な活動地 熊本県内

石井方二氏は、三弦（三味線）の駒と撥の貴重な作り手である。十三歳から修行を始め、これまで六十余年にわたり、独自の技法と工夫により「石井駒」「石井撥」と呼ばれる製法・製品を確立した。

石井駒は、三弦の胴と触れる駒の腹側の材料を従来の鉛から金や銀を埋め込む方法に変え、高さや形にも工夫を施してある。また、石井撥は、従来のものより大きく重畳のあるものに改良し、撥先の広がり具合、切り込みの角度、糸に当たる撥先の尖った部分の厚さに工夫を施し、演奏家の手の大きさ、癖、好みに合わせて一つ一つ作られている。これら石井駒、石井撥は、三弦の音色に艶と余韻を生み出す名品といわれ、国指定重要無形文化財の富山清琴氏や故宮城道雄氏など、県内はもとより全国の一流演奏家から支持されてきた。

このように、同氏は長年にわたり、三弦のより良い音色を追究し、優れた駒と撥の製作を通じて地味をはじめとする古典芸能など伝統文化の維持発展に貢献している。

伝統工芸品の世界は後継者不足に悩むところが多く、また三弦の駒、撥の材料の入手も厳しい環境にある中で、現在、後継者の指導育成にも情熱を注いでおり、今後とも同氏の更なる活躍が期待されている。

## これまでの活動歴

昭和八年	三弦（三味線）の駒、撥の製作を始める
昭和四十七年	宇土市無形文化財の指定を受ける
昭和五十一年	熊本県ふるさと頭彰
昭和五十二年	NHK「九州の名工」に出演
昭和五十四年	NHK「邦楽まつり舞台」ゲスト出演
昭和五十九年	熊本県伝統工芸協会会長就任
昭和六十年	熊本県主催熊本フェア「肥後の匠」
昭和六十二年	全国植樹祭開催期間、天皇陛下が県伝統工芸館の御視察の折、陛下の前で実演披露
昭和六十二年	伝統的工芸品産業小規模産地功労者褒章
	(伝統的工芸品産業振興協会)
平成元年	伝統文化ポスター大賞特賞受賞
	熊本県芸術祭三十周年記念特別表彰
平成五年	熊本県芸術功労者表彰
平成七年	熊本県優秀技能者表彰
平成十二年	熊日賞受賞